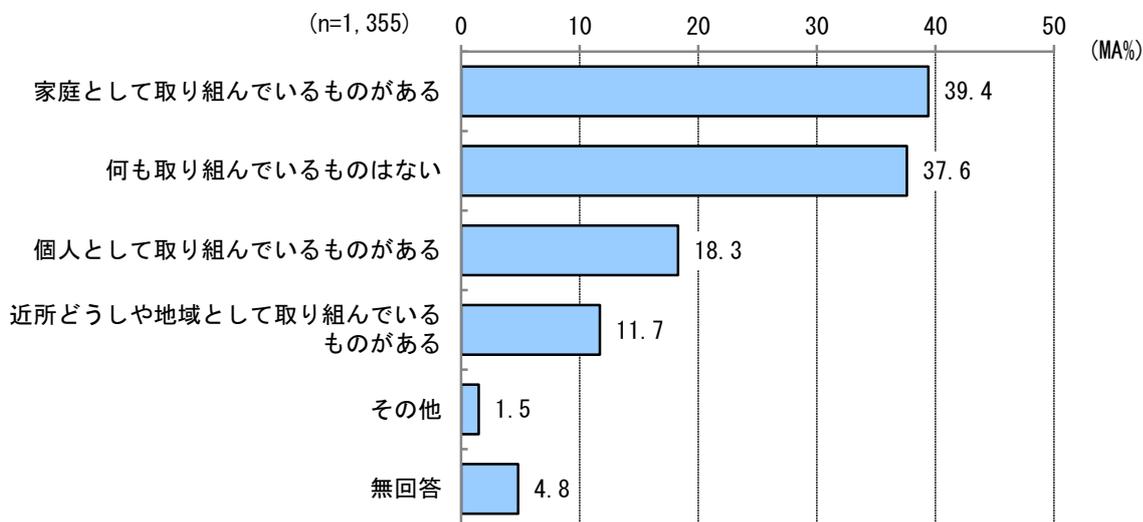


#### 4. 「防災」対策として地域等で取り組んでいること

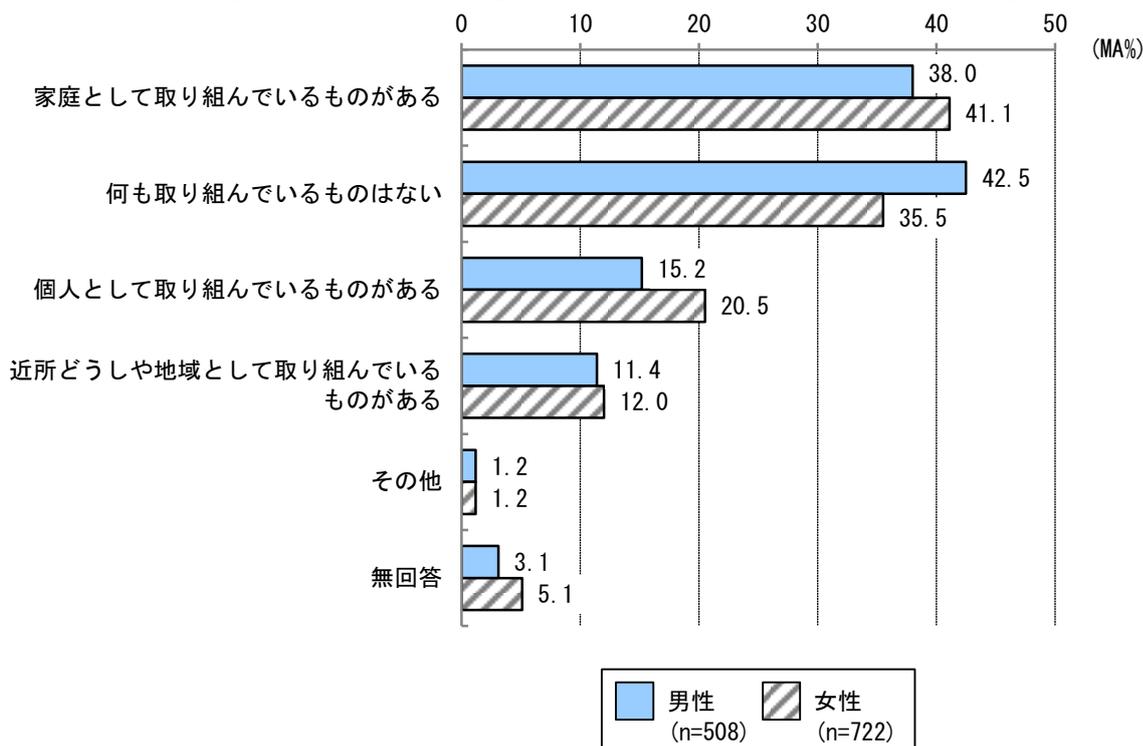
問4 「防災」対策として、あなた自身やご家庭、地域で取り組んでいるものがありますか。あてはまるものをすべて選んで番号に○をつけてください。

【図4 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



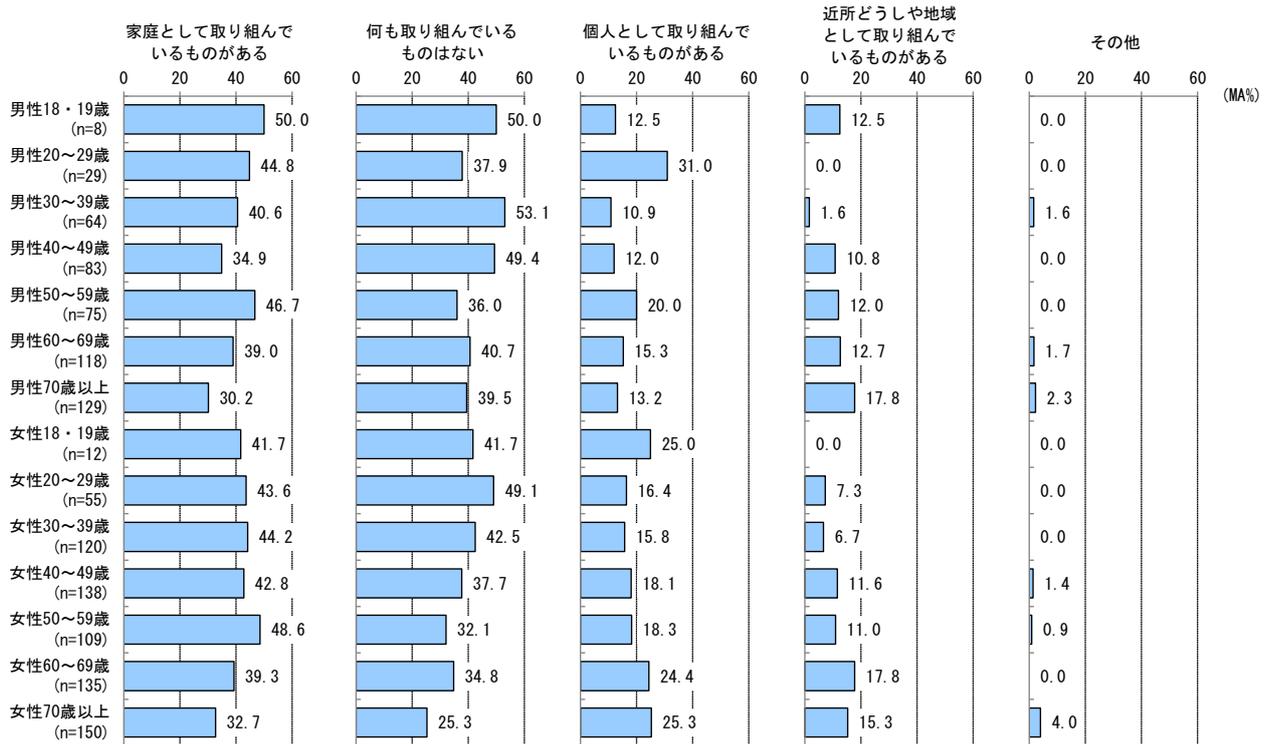
- 「防災」対策として地域等で取り組んでいることについては、「家庭として取り組んでいるものがある」が39.4%と最も高く、次いで、「何も取り組んでいるものはない」が37.6%、「個人として取り組んでいるものがある」が18.3%、「近所どうしや地域として取り組んでいるものがある」が11.7%となっている。(図4)
- 性別でみると、男性では「何も取り組んでいるものはない」が42.5%と最も高く、女性では「家庭として取り組んでいるものがある」が41.1%と最も高くなっている。(図4-1)

【図4-1 性別 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



●性年代別でみると、男性18・19歳では「家庭として取り組んでいるものがある」と「何も取り組んでいるものはない」が50.0%と最も高く、男性20～29歳、男性50～59歳、女性30～39歳、女性40～49歳、女性50～59歳、女性60～69歳、女性70歳以上では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ44.8%、46.7%、44.2%、42.8%、48.6%、39.3%、32.7%と最も高く、男性30～39歳、男性40～49歳、男性60～69歳、男性70歳以上、女性20～29歳では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ53.1%、49.4%、40.7%、39.5%、49.1%と最も高く、女性18・19歳では「家庭として取り組んでいるものがある」と「何も取り組んでいるものはない」が41.7%と最も高くなっている。(図4-2)

【図4-2 性年代別 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】



●居住地区別でみると、加古川、加古川北、加古川西では「家庭として取り組んでいるものがある」がそれぞれ42.4%、44.0%、39.2%と最も高く、野口、平岡、浜の宮、両荘、志方では「何も取り組んでいるものはない」がそれぞれ40.7%、40.5%、39.0%、40.7%、43.4%と最も高くなっている。(図4-3)

【図4-3 居住地区別 「防災」対策として地域等で取り組んでいること】

